

## ☆基本理念

「一人一人の子どもを徹底的に大切にし、しっかり育てる」

## 児童の実態

- 子どもらしく素直で明るい。
- 真面目に物事に取り組むが、学力に課題がある子どもがいる。
- 生活体験や社会体験が少ない。
- 自分の考えを表現できるようになってきた。
- 思考を働かせての主体的な取組が弱い。

## 【教育目標】

自分の未来を切り拓く  
心豊かでたくましい児童の育成

## 家庭・地域の実態

- 教育に熱心であり、学校への信頼が厚い。
- 三世帯家庭が多く、祖父母から多くのことを学んでいる。
- 豊かな自然と歴史に恵まれ、地域に誇りと愛着を持っている。
- 人材が豊富である。

## 【めざす子ども像】

いきいき わくわく ニ小っ子

- ☆自分の考えを表現し、進んで学ぶ子  
(問題解決的な学習展開、思考力・判断力・表現力を育む言語活動)
- ☆ふるさとを愛し、思いやりのある子  
(ふるさとのよさに気づき、人と人とのつながりを大切にする取組)
- ☆積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子  
(あらゆる教育活動の中で達成感・成就感を味わう取組)

## 【経営方針】

## 「教育活動の更なる充実と地域ぐるみの学校づくり」

- (1) 教育公務員としての使命と責任を自覚し、全教職員で創意ある教育活動を展開し、学校全体の教育力アップを図る。
- (2) 学力向上プランに基づき、PDCA のマネジメントサイクルを進め、学力の向上に繋げる
- (3) 子どもの実態や地域の特色を踏まえた特色ある学校づくりを推進する。
- (4) 学校教育活動の情報発信、学校評価による学校の説明責任、学校改善の推進を図る。
- (5) 一人一人のよさを認め、切磋琢磨して共に高まり合う学校にしていこうとする校風の確立を図る。
- (6) 調べることができる蔵書を増やし、学習情報センターとして図書室を充実させる。
- (7) 京北小中一貫教育を軸に、これからの京北地域の教育の在り方について考えていく。

## 【重点課題 目指す子ども像・経営方針へのアプローチの仕方】

- (1) 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
  - 子どもが主体的に進める授業の実践（学習の流れの掲示による見通しの提示）
  - 問題解決学習（課題把握→自力解決→集団解決→ふりかえり）の流れを取り入れた授業の展開
  - 言語活動の充実（ホワイトボードを活用した、考えの交流）
  - ノート指導を中心とした学び方の指導の徹底
- (2) ふるさとを愛し、思いやりのある心豊かな子
  - 生活科・総合的な学習を通して地域の様子（産業・文化・歴史・環境・福祉等）や地域の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの良さが実感できるようにする。
  - 色別活動（縦割り活動）を通じて、よりよい人間関係を築く。  
高学年は、リーダーとしての自覚を、低学年にはよい高学年像をもてるようにする。
  - 「なかよしの日」の取組（人権学習）を通じて、人権問題について正しく理解し、人権意識の向上を図る。
  - 食に対する取組を通じて、望ましい食習慣を培い、食にかかわる人々と食べ物への感謝の心を育てる
- (3) 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子
  - 朝マラソン・朝の陸上教室で、自らの目標を目指し努力する取組を進める。
  - 読書マラソンで目標をもち、集中して読書する習慣と読解力をつけるようにする。

## 学級経営力の向上

- ・普通授業の充実
- ・子どもとの信頼関係の構築
- ・支え合い、高め合う学習集団作り

## 校内研修の充実

- ・算数科を中心とした問題解決力・活用力を高める授業のあり方
- ・児童理解や人権研修の充実
- ・ICT の活用

## 協働する教職員集団

- ・各主任による創意ある活動の展開
- ・教職員のよさを生かし伸ばす学校経営
- ・リーダーシップの育成

## 保護者・地域の支援

- ・地域への情報発信や積極的な働きかけ
- ・学校評価による学校改善
- ・地域の自然、文化、人材を生かす取組
- ・学校運営協議会・学校評議員、諸団体との連携